

中学部 2年生 職業・家庭科(家庭科分野) 年間計画

【1段階】

指導内容	単元名(仮) *各教科等を合わせた指導で行う
<p>家庭分野A 家族・家庭生活 <u>生活単元学習</u> エ 幼児の生活と家族: 幼児と接することなどに関わる学習活動 (ア) 幼児の特徴や過ごし方について知ること。 (イ) 幼児への適切な関わり方について気付き, それらを他者に伝えること。</p>	<p>「幼児の生活と家族」(仮) ★中学部としては、特別支援独自に近い。 ★下記の構成の仕方が参考になる 「幼児の生活と家族」 ①幼い頃を振り返ろう ②幼児の体の発達について考えよう ③幼児の生活習慣について考えよう ④幼児の生活と遊びを知ろう ⑤幼児との関わりについてまとめよう ⑥子どもにとっての家族について考えよう</p>
<p>家庭分野B 衣食住の生活 <u>生活単元学習</u> ウ 衣服の着用と手入れ: 衣服の着方や手入れの仕方などに関わる学習活動 (ア) 場面に応じた日常着の着方や手入れの仕方などについて知り, 実践しようとする事。 (イ) 日常着の着方や手入れの仕方に気付き, 工夫すること。</p>	<p>「夏をすずしくさわやかに」*小6 家庭科 ①夏の生活を見つめよう ②涼しくさわやかな住まい方や着方をしよう ③夏の生活を工夫しよう 「冬を明るく暖かく」*小6 家庭科 ①冬の生活を見つめよう ②暖かい着方や住まい方をしよう ③冬の生活を工夫しよう</p>
<p>家庭分野B 衣食住の生活 <u>生活単元学習</u> エ 快適な住まい方: 持ち物の整理や住まいの清掃などに関わる学習活動 (ア) 住まいの主な働きや, 整理・整頓や清掃の仕方について知り, 実践しようとする事。 (イ) 季節の変化に合わせた住まい方, 整理・整頓や清掃の仕方に気付き, 工夫すること。</p>	<p>*小の内容とほぼ同じ形であるが, この分野は着方, 住まい方と, 小の教科書を参考にしながら教え, 季節に応じた形で教えていくよい。</p>
<p>家庭分野C 消費生活・環境 <u>作業学習</u> イ 環境に配慮した生活: 身近な生活の中で環境に配慮することに関わる学習活動 (ア) 身近な生活の中で, 環境に配慮した物の使い方などについて知り, 実践しようとする事。 (イ) 身近な生活の中で, 環境に配慮した物の使い方などについて考え, 工夫すること。</p>	<p>★一段階、二段階、ほぼ同じ。一段階を踏まえて二段階。以下が参考。知的の内容解説が取組みの中心で、取り扱いを決めていく。 「物を生かして住みやすく」*小5 家庭科 ①身の回りや生活の場を見つめよう ②身の回りをきれいにしよう ③物を生かして快適に生活しよう *ほぼ小の内容と同じ。①の身の回りの整理・整頓から、使える物、使えない物に着目させ、その中で、まだ修理すれば使える物、作りかえたら使えたりする物などの流れの中で、見方・考え方を働かせて、指導内容を押さえていく。</p>
【2段階】	
<p>家庭分野A 家族・家庭生活 ア 自分の成長と家族: 自分の成長と家族や家庭生活などに関わる学習活動 (ア) 自分の成長を振り返り, 家庭生活の大切さを理解すること。 (イ) 家族とのやりとりを通して, 家族を大切にしたい気持ちを育み, よりよい関わり方について考え, 表現すること。</p>	<p>「 」 ★特別支援独自 *知的の内容解説をもとに指導。各教科等を合わせた指導の中で指導ができる。</p>
<p>家庭分野A 家族・家庭生活 イ 家庭生活と役割: 家庭生活での役割などに関わる学習活動 (ア) 家庭における役割や地域との関わりについて調べて, 理解すること。 (イ) 家庭生活に必要なことに関して, 家族の一員として, 自分の果たす役割を考え, 表現すること。</p>	<p>「 」 ★特別支援独自 *知的の内容解説をもとに指導。各教科等を合わせた指導の中で指導ができる。</p>

<p>家庭分野 B 衣食住の生活 ア 食事の役割: 楽しく食事をするための工夫などに関わる学習活動 (ア) 健康な生活と食事の役割や日常の食事の大切さを理解すること。 (イ) 日常の食事の大切さや規則正しい食事の必要性を考え、表現すること。</p>	<p>「食事の役割や日常の食事の大切さ」 ★特別支援独自に近い。 *小と内容が近いが、知的の内容解説から微妙に違う。よって、内容解説をもとに、指導。</p>
<p>家庭分野 B 衣食住の生活 イ 栄養を考えた食事: バランスのとれた食事について考えることに関わる学習活動 (ア) 身体に必要な栄養について関心をもち、理解し、実践すること。 (イ) バランスのとれた食事について気づき、献立などを工夫すること。</p>	<p>「 」 ★特別支援独自 *小と内容が似通っている。知的の内容解説では、栄養素の特徴により「主にエネルギーのもとに」「主に体のもとに」「主に体の調子を整えるもとに」の三つのグループ、あと、和食の基本の米飯と味噌汁の組み合わせと記してあることから、下記の流れが参考になる。このとき、ご飯、味噌汁の作り方は、調理の基礎で、そのまま扱える。 参考 「食べて元気！ご飯とみそ汁」*小 5 家庭科 ① 毎日の食事を見つめよう ② 日常の食事のとり方を考えて、調理しよう ③ 食生活を工夫しよう</p>
<p>家庭分野 B 衣食住の生活 ウ 調理の基礎: 食事の準備や調理の仕方などに関わる学習活動 (ア) 調理に必要な材料の分量や手順などについて理解し、適切にできること。 (イ) 調理計画に沿って、調理の手順や仕方を工夫すること。</p>	<p>「 」 ★特別支援独自 *小と内容がほとんど同じだが、調理計画について、小は考える、知的の場合は、計画に沿って、という内容の違いは大きい。 この分野は、各教科等を合わせた指導において、家庭や宿泊学習等をうまく活用して指導。</p>
<p>家庭分野 C 消費生活・環境 ア 身近な消費生活: 身近な消費生活について考えることなどに関わる学習活動 (ア) 生活に必要な物の選択や扱い方について理解し、実践すること。 (イ) 生活に必要な物について考えて選ぶことや、物を大切に使う工夫をすること。</p>	<p>「 」 ★特別支援独自 *小の指導要領とちょっと似ているが、内容としては、目的に合った物の選び方、予算内を選ぶ、使い切りする経験など、各教科等を合わせた指導の中で指導が考えられる。</p>